

# 広報公聴委員会行政視察報告書

平成29年2月1日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 山本 俊明 (印) 議員 大月 隆司 (印)  
議員 大本 益之 (印) 議員 齋藤 一信 (印)  
議員 妹尾 博之 (印) 議員 仁科 文秀 (印)  
議員 東川 三郎 (印) 議員 三谷 渡 (印)  
議員 森岡 聰子 (印)

次のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

## 記

### 【1】 東京都あきる野市

住 所	東京都あきる野市二宮 350 番地
電 話	042-558-1111
視察案件	議会だよりについて
期 日	平成29年1月26日(木) 15時00分～17時00分
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	
概 要	(1) はじめに 昨今、政務活動費の問題等、様々な要因で地方議会に注目が集まる中、議会の活動を広く広報することは地方議会に対する正しい認識・理解を図るためには欠かせない。本市議会では、平成27年3月に近隣市議会での広報紙の研修

に参加し、以後読みやすく分かりやすい議会だよりを目指して改良を重ねてきた。今回は、改良にあたり参考にした全国の様々な議会だよりのうち、特に評判の高いあきる野市議会へ直接出向き、さらなる議会だよりの質の向上を図るものである。

## (2) 視察内容（あきる野市の説明）

- ・リニューアルについては、個別の提案は何度かあったが上手く行かなかった。

→過去に賞を受賞した経験もある議会だよりであるため変えなければならぬという意思が働きにくかった。

- ・調査研究グループ（議員3・職員1）を設置し、平成23年10月には市民アンケートを実施した。その後、平成24年5月まで10回にわたり内容検討を行い、編集委員会へ提案。代表者会議等を経てリニューアルを決定。

- ・検討にあたり「なにを」「いつまでに」するか決定。

→「なにを：手にとってもらおう表紙づくり、気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫」「いつまでに：平成25年2月1日号までに」

- ・ターゲットを絞り、特集をする。ターゲットは号ごとにかえる。

→手に取るきっかけづくり

- ・特集（取材）に当たっては2年分を予めリストアップし、委員が対応している。

- ・表紙と特集をリンクさせる。

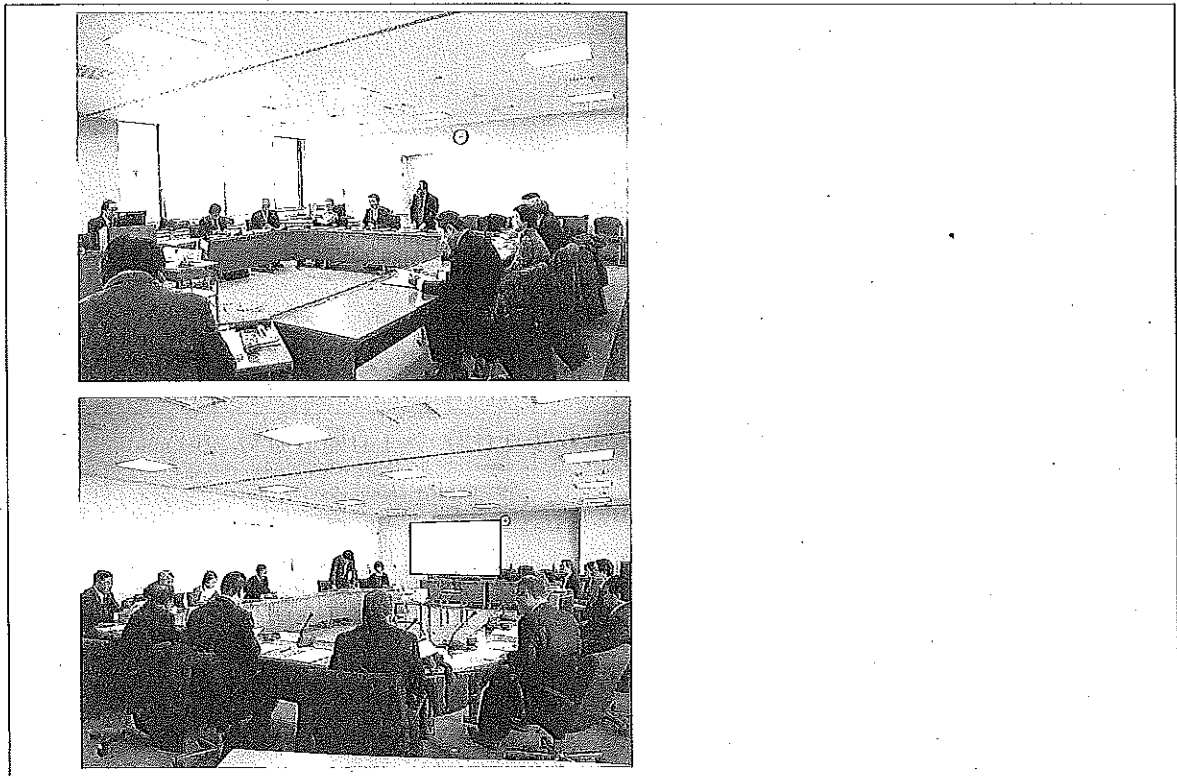
- ・読みやすさを向上させるため、「導線」「ホワイトスペース」「統一感」を意識。

- ・議案審議と一般質問の記事は「知らせたいことと知りたいことの差」「読んで欲しい量と読める量の差」などがポイント

- ・継続性と配付方法が課題

	<p>※なお、今回の視察では説明・質疑応答では基本的にあきる野市議会議員の皆さんに対応いただいた。</p> <p>(3) 所感</p> <p>読むきっかけづくりとなるターゲットを絞った特集・表紙、読みやすさを重視した導線・見出しなどの紙面構成、限られた紙面の中でできるだけ読んでもらうための原稿量の調整等、様々な取り組みが参考になった。インターネットから印刷した紙面を見るだけではわからない工夫・狙いを聞くことができ、とても参考になった。</p> <p>リニューアルにあたってはデザイナーに様々なアドバイスを頂いたとのこと。本市議会でもさらなるレベルアップのためには、時に専門家の目を通して頂く必要もあるのではと感じた。</p>
添付書類	<p>視察資料      視察状況写真      名刺</p> <p>○                      ○                      ○</p>

## 視察状況写真



【2】 東京都水道歴史館

住 所	東京都文京区本郷2-7-1
電 話	03-5802-9040
視察案件	※施設見学
期 日	平成29年1月27日(金) 10時00分～10時50分
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	
概 要	<p>(1) はじめに</p> <p>本市における水道料金については多くの人が関心を寄せるテーマであり、今年度の議会報告会でも「知っていますか？ 笠岡市の水道の今」と題し、報告を行ったところである。</p> <p>市民生活にとって水の安定的な供給は不可欠なものであり、他市との比較を</p>

するにおいても、笠岡の水道の歴史、地形的な特徴、今後の管路の更新計画等をしっかりと把握することは欠かせない。そうした意味で、市民・子どもたちへ啓発・教育をしていくことは大変重要と考える。今回視察した施設は「江戸～東京 400 年の大切な水道の歴史と、安全でおいしい水をお届けするための水道の技術・設備に関わる展示を、無料で公開している東京都水道局 PR 館の一つ（公式 HP より）」である。広報の方法の一つとして参考になることがあればと考え視察を行った。

## (2) 視察内容

### ア 展示項目

- ・江戸上水史
  
- ・大名屋敷に見る江戸上水
  
- ・江戸の給水方法、水事情
  
- ・藩政時代の水道
  
- ・水道事業の移り変わり
  
- ・隣接水道の合併
  
- ・災害と水道（台風・戦争・地震・干ばつ）
  
- ・ダムについて
  
- ・高度浄水処理について
  
- ・応急給水の場所 等

### イ 展示物・方法

- ・年表
  
- ・パネル（文章・写真）
  
- ・当時の資料（台風被害を伝える新聞記事・古文書等）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木樋（木製の水道管）・馬水槽等，本物の資材</li> <li>・各種模型</li> <li>・案内動画</li> <li>・音声ガイド</li> </ul> <p>ウ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真撮影，スケッチ可能</li> <li>・5名以上からガイドツアー可能</li> </ul> <p>(3) 所感</p> <p>江戸から東京へと移り変わる中での水道の歴史，渇水・災害時における対応など，一つ一つのパネルが読みやすくまた，分かりやすいものだった。管内においてある資料を取ってみても，児童向けの学習資料，水道水が市民生活を支えているという啓発チラシ，これからの東京都の取り組みを掲載した「東京水道イノベーションプロジェクト」等，様々な手法で啓発・PRをしており，本当に素晴らしい施設だと感じた。</p> <p>東京都と笠岡市では当然財政規模の面で比較にならず，PR施設というのはあくまでも参考形態と考えるが，視察資料として持ち帰った小学校の社会科学習資料等，本市においても取り組むことが可能な手法を模索していく必要があると感じた。</p>						
添付書類	<table border="0"> <tr> <td>視察資料</td> <td>視察状況写真</td> <td>名刺</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	視察資料	視察状況写真	名刺	○	○	○
視察資料	視察状況写真	名刺					
○	○	○					

# 視察状況写真

